



2007年度 第1四半期決算 カンファレンスコール説明資料

2007年8月1日

参天製薬株式会社



2007年度 第1四半期 連結業績概要

執行役員 計画・統制本部長
納塚善宏



連結業績概要

(単位：億円)

	2006年度 1Q実績	2007年度		
		1Q実績	増減額	増減率
売上高	259	265	6	2.0 %
営業利益	62	59	3	4.6 %
経常利益	63	62	1	1.5 %
四半期純利益	41	38	3	5.9 %



販売部門別 売上高 / 海外売上高

販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2007年度 1Q実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	208.4	0.8%	36.7	26.3%	245.2	2.5%
眼科薬	183.3	0.4%	36.0	28.5%	219.4	3.4%
抗リウマチ薬	24.6	3.1%	0.6	24.2%	25.2	3.8%
その他医薬品	0.5	10.7%	0.0	72.3%	0.5	25.3%
一般用医薬品	12.6	0.9%	0.0	49.2%	12.6	0.7%
医療機器	1.1	18.2%	0.1	158.3%	1.3	13.0%
その他	1.4	29.4%	4.5	17.8%	6.0	9.6%
合計	223.8	0.7%	41.4	19.4%	265.2	2.0%

海外売上高

(単位：億円)

	2006年度 1Q実績	2007年度		
		1Q実績	増減額	増減率
欧州	19.2	22.5	3.3	17.2%
北米	5.0	3.8	1.2	24.1%
アジア	-	15.0	15.0	-%
その他	10.4	0.0	10.4	-%
合計	34.7	41.4	6.7	19.4%



連結売上高：増減要因

2006年度
1Q
売上高
259.9億円

+ 5.3億円

2007年度
1Q
売上高
265.2億円

国内 1.4億円

[増収要因]

- + 一般用医薬品 + 0.1億円
- + その他 + 0.3億円

[減収要因]

- + 医療用眼科薬 0.8億円
- + 抗リウマチ薬 0.7億円
- + 医療機器 0.2億円

海外 + 6.7億円

[増収要因]

- + 欧州 + 3.3億円
- + アジア + 4.8億円
 - うち、中国 + 2.9億円
 - うち、韓国 + 1.3億円

[減収要因]

- + 北米 1.2億円
- + その他 0.1億円

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 2.8億円
- + 角膜 + 2.5億円
- + 緑内障 0.4億円
- + アレルギー 0.9億円
- + オペガン類 + 1.0億円
- + その他 0.2億円

欧州

- + 医療用眼科薬 + 3.5億円
 - うち、ロシア + 1.1億円
 - うち、ドイツ + 0.5億円
 - うち、フィンランド + 0.7億円
- + 受託製造 他 0.2億円

北米

- + 医療用眼科薬 0.5億円
- + 受託製造 他 0.7億円



損益計算書 要約差異 (1)

(単位：億円)

	2006年度 1Q実績	2007年度		主な増減要因
		1Q実績	増減	
売上高	259	265	6	
売上原価 (対売上高比率)	90 34.8%	94 35.5%	4 0.7 ppt	<ul style="list-style-type: none"> ・ 操業度の低下 (+0.2ppt) ・ 固定費の増加 (+0.4ppt) ・ 欧州子会社等 (+0.1ppt)
販売費・一般管理費 (対売上高比率)	107 41.3%	111 42.2%	4 0.9 ppt	
研究開発費を除く販管費 (対売上高比率)	72 27.9%	80 30.3%	8 2.4 ppt	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内 販売費増加 (+2億円) ・ アジア 販売費増加 (+2億円) ・ 欧州 販売費増加 (+2億円)
研究開発費 (対売上高比率)	34 13.4%	31 11.8%	3 1.6 ppt	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑内障関連 (2.5億円)
営業利益 (対売上高比率)	62 23.9%	59 22.3%	3 1.6 ppt	

<為替レート>		
	2006年度 1Q実績	2007年度 1Q実績
US\$	114.40円	120.69円
Euro	142.52円	160.23円



損益計算書 要約差異 (2)

(単位：億円)

	2006年度 1Q実績	2007年度		主要項目および主な増減要因
		1Q実績	増減	
営業外収支	1	3	2	
営業外収益	3	3	0	〔06年度〕受取利息等 (1億円) 保険満期返戻金 (1億円) 〔07年度〕受取利息等 (2億円) 保険満期返戻金 (1億円)
営業外支出	2	0	2	〔06年度〕為替差損 (1億円)
経常利益	63	62	1	
特別損益	2	0	2	
特別利益	2	0	2	〔06年度〕固定資産処分益 (2億円)
特別損失	0	0	0	
税引前当期純利益	65	61	4	
法人税等	24	23	1	税率〔06年度〕36.8% 〔07年度〕37.2%
四半期純利益	41	38	3	

<為替レート>	
2006年度 1Q実績	2007年度 1Q実績
US\$ 114.40円	120.69円
Euro 142.52円	160.23円



所在地別セグメント情報

【売上高】

(単位：億円)

	2006年度 1Q実績	2007年度	
		1Q実績	増減額
日本	233	237	4
欧州	24	26	2
うち欧州	19	22	3
うち米国	5	3	2
その他 ¹	1	1	0
合計	259	265	6

【営業利益】

(単位：億円)

	2006年度 1Q実績	2007年度	
		1Q実績	増減額
日本	62	63	1
欧州	3	3	0
うち欧州	1	1	0
うち米国	2	1	1
その他 ¹	0	2	2
消去	3	5	2
合計	62	59	3

1 その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国であり、主な売上高と費用は下記の通りです
 売上高：台湾および韓国の医療用医薬品、費用：米国の医療機器の研究開発費

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります



貸借対照表

(単位：億円)

	2006年度末		2007年度1Q末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,008	63.4 %	993	63.5 %	15
固定資産	582	36.6 %	569	36.4 %	13
資産合計	1,590	100.0 %	1,563	100.0 %	27
流動負債	223	14.0 %	191	12.3 %	32
固定負債	80	5.1 %	78	5.0 %	2
負債合計	304	19.1 %	269	17.3 %	35
純資産合計	1,286	80.9 %	1,294	82.7 %	8
負債・純資産合計	1,590	100.0 %	1,563	100.0 %	27

【主要変動科目】

流動資産：(増加要因) 受取手形及び売掛金 + 19億円

(減少要因) 現預金 9億円、有価証券 14億円、たな卸資産 3億円、
繰延税金資産 6億円

固定資産：投資有価証券 7億円、投資その他の資産 その他 2億円

流動負債：(増加要因) 預り金 +6億円

(減少要因) 買掛金 9億円、未払法人税等 19億円、賞与引当金 12億円

純資産：(増加要因) 四半期(当期)純利益 + 38億円

(減少要因) 配当金 30億円



キャッシュ・フロー計算書 要約

(単位：億円)

		2007年度 1Q実績	主要項目
現金等	期首残高	498	
現金等	増減額	7	
	営業活動による キャッシュ・フロー	12	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前四半期純利益 61 ・減価償却費 11 ・法人税等の支払額 36 ・売上債権の増加 19
	投資活動による キャッシュ・フロー	7	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金等の払戻による収入 6 ・有価証券の売却による収入 10 ・固定資産の取得による支出 8
	財務活動による キャッシュ・フロー	29	<ul style="list-style-type: none"> ・配当金の支払額 28
	換算差額	2	
現金等	期末残高	490	

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位：億円)

	2006年度 1Q実績	2007年度	
		1Q実績	増減額
設備投資額	8	3	5
減価償却費	7	7	0
リース料	2	2	0

設備投資 2007年度 第1四半期 主要項目

・能登工場 製造設備維持・更新



新製品開発の状況

常務執行役員 研究開発本部長
西畑 利明



主要臨床プロジェクトの現状 - 緑内障・高眼圧症 -

コード番号	地域	開発段階	備考
DE-085	日本	製造販売承認申請	申請時期:2006年7月
	欧州	製造販売承認申請	申請時期:2007年4月
DE-092	欧州	P2パイロット試験	一般名:オルメサルタン
DE-090	日本	P2	一般名:塩酸ロメリジン
DE-104	米国	P1	ROCK阻害剤



主要臨床プロジェクトの現状 - 角結膜上皮障害(ドライアイを含む) -

コード番号	地域	開発段階	備考
DE-089	日本	P3	申請予定:2008年度3Q
DE-099	日本	P2	一般名:ゲファルナート
DE-101	米国	P2	一般名:リボグリタゾン



主要臨床プロジェクトの現状 - その他 -

コード番号	地域	効能	開発段階	備考
DE-096	日本	関節リウマチ	P2	TNF阻害剤
		糖尿病黄斑浮腫	P2	
DE-102	日本	糖尿病黄斑浮腫	P1/2a	ステロイドDDS
DE-103	日本	アレルギー性 結膜炎	P1	PDE4阻害剤